

# 世界を広げた3泊4日

## ヤンボラ新聞

ヤングボランティアセンター

### No.3

平成22年3月17日発行

松山市堀之内  
愛媛県美術館南館内

TEL-FAX

089-932-0160

メールアドレス  
youngvolhime07@yahoo.co.jp

## 感謝の心共に学ぶ

### スタッフ5人 地域の協力得て

#### 通学合宿 in 久米公民館

平成21年10月14日〜17日、久米小学校の児童4〜6年生24人が親元を離れ、寝食をともにしながら久米公民館から通学した。ヤンボラスタッフ(高校生)5人が参加し、小学生をサポートした。

「君の世界を広げよう」をテーマに3泊4日の通学合宿をすることが決まった。7月から実施時期や実施内容、募集の方法、食事のメニューまで何度も何度も話し合った。小学生はたくさん参加してくれるだろうか、仲良くできるだろうかという不安な気持ちがある一方で、期待も高まってきた。

通学合宿初日、大きな荷物を抱えた子どもたち24人が久米公民館に集まった。入所式・アイスブレイキング・ふれあいタイム(宿題をする時間)の後、就寝。興奮気味の子どもたちは、なかなか眠ることができなかった。2日目からは、朝夕の食事の準備から片付けまで、子どもたちと一緒に行った。「親の大変さが分かった」という子どもの声がかかった。この日の夜は、天体観測。お風呂の帰り道、みんなで夜空を見上げた。



夕食のお好み焼き作り

最初のスタッフ会議で自主企画のクリスマス会をしようと決め、当日までにゲーム講習を積み重ねた。協力していただいたのは、松山大学V.Y.S.部の方々。慣れていない私たちを指導していただいた。また、プログラムに関してもアドバイスをいただいた。

その一方で、私たちは活動先を見つけなければならなかった。今までの活動で知り合った方に声をかけ、何とか3カ所でのクリスマス会を行うことが決まった。

しかし、11月に入り、新型インフルエンザのため、立て続けに2つのクリスマス会が中止。残った一つも心配されたが、何とか当日を迎えることができた。

前半(ゲーム大会)の内容は、▽セーの▽クリスマスジャンケン▽早くサンタになりたい▽恋人取りゲーム▽フルーツバ

また、食事準備の指導、朝の登校での付き添いなど、大人のスタッフの方々の協力のおかげで私たちが力を発揮できた。

この合宿の計画や運営は大変だったが、私たちスタッフを大きく成長させてくれた。そして、子どもたちだけの世界も大きく広がった。

平成21年12月23日に石井公民館一の宮団地分館において、スタッフ10人がクリスマス会を運営した。この企画名は、「MISSION 06」クリスマス会をプロデュースせよ。松山大学V.Y.S.部の方々子ども会の方よりご指導いただき、ヤンボラ立ち上げ当初からの夢であったこのプロジェクトは幕を開けた。

をかけ、何とか3カ所でのクリスマス会を行うことが決まった。

一人ひとりの子どもたちの声を聞いていくと、なかなかゲームが進まない。実際に子どもを前にしてゲームをするのが初めてのスタッフは戸惑う。

後半では、絵本の読み聞かせや人形劇をした。読み聞かせでは、愛媛県立図書館で行われている「おはなしいすき」で経験を積んだスタッフが、クリスマス会の絵本を読んだ。人形劇においては、ストーリーの構成や人形の動きなどもスタッフが自ら考えた。人形は、大学生の手作り人形を借りた。脚本は、一人のスタッフの体験談をモチーフにした作品に仕上げた。後半、子どもたちは、真剣な眼差しで人形劇を鑑賞し

「おはなしいすき」で読み聞かせをするスタッフ

# サンタ登場に歓声

## クリスマス会を演出



参加したスタッフからは、「やりがいがあった」「子どもから元気をもらった」「もっと経験を積みたい」「子どもたちとの関わり方を学びたい」などの感想があり、和を乱す子どもへの対応など、多くの課題も見えてきた。

今年度、新たな取組として絵本の読み聞かせに挑戦した。事前に講習会を開き、「感情を込めて読む」、「聞き取りやすいようにゆっくり読む」など指導を受けた。幼児から小学生だけでなく誰でも楽しめる雰囲気作りに努めた。参加したスタッフは「たくさんの聞き手を前に、はじめは緊張したが、自分が一生懸命絵本を読んでいるのが嬉しくなってきた」と話している。ヤンボラスタッフが参加した読み聞かせ活動は次のとおり

・県立図書館おはなしいすき  
・川内保育園定期おはなしいすき  
・自転車紙芝居(えひめこどもの城)

また、食事準備の指導、朝の登校での付き添いなど、大人のスタッフの方々の協力のおかげで私たちが力を発揮できた。

この合宿の計画や運営は大変だったが、私たちスタッフを大きく成長させてくれた。そして、子どもたちだけの世界も大きく広がった。

また、食事準備の指導、朝の登校での付き添いなど、大人のスタッフの方々の協力のおかげで私たちが力を発揮できた。

この合宿の計画や運営は大変だったが、私たちスタッフを大きく成長させてくれた。そして、子どもたちだけの世界も大きく広がった。

今年度、新たな取組として絵本の読み聞かせに挑戦した。事前に講習会を開き、「感情を込めて読む」、「聞き取りやすいようにゆっくり読む」など指導を受けた。幼児から小学生だけでなく誰でも楽しめる雰囲気作りに努めた。参加したスタッフは「たくさんの聞き手を前に、はじめは緊張したが、自分が一生懸命絵本を読んでいるのが嬉しくなってきた」と話している。ヤンボラスタッフが参加した読み聞かせ活動は次のとおり



通学合宿に参加した子どもたちとスタッフ

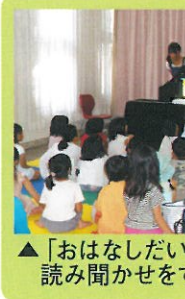
て、気がつけば退所式。楽しい時間はあっという間に過ぎた。この4日間を振り返ると、最初は自分本位に行動していた子どもたちが、徐々に周囲を見て行動できるようになったと思う。私たちは、時間通りに進めようと怒鳴ってばかりだったが、子どもたちが自分たちで考えて行動するまで待つという姿勢も必要だったと反省した。子どもたちだけでなく私たちも、親への感謝の気持ちを持った。

### 表1「通学合宿」を実施するまで

7月	活動時期・内容の検討 ↓ タイムテーブル作成
8月	現地下見 ↓ テーマを決定 ↓ 現地で関係者にあいさつ ↓ 募集要項・参加申込書完成
9月	松山市立久米小学校で説明会 (スタッフはビデオでの参加)
10月	現地にて最終確認 ↓ 当日(終了後、反省会)

### 「絵本読み聞かせ」緊張の初挑戦

今年度、新たな取組として絵本の読み聞かせに挑戦した。事前に講習会を開き、「感情を込めて読む」、「聞き取りやすいようにゆっくり読む」など指導を受けた。幼児から小学生だけでなく誰でも楽しめる雰囲気作りに努めた。参加したスタッフは「たくさんの聞き手を前に、はじめは緊張したが、自分が一生懸命絵本を読んでいるのが嬉しくなってきた」と話している。ヤンボラスタッフが参加した読み聞かせ活動は次のとおり



「おはなしいすき」で読み聞かせをするスタッフ

最初には余裕がないと思うので、リーダーはゲームに参加せず、子どもたちのフォローに回れば、もっとよい流れができたのではないかと思います。

松山大学V.Y.S.部BOB・OG  
三好由香さんの話  
役割が当たっていない人が、ゲーム等で前に立っている担当者をフォローしなければならぬ。



# 清掃奉仕の輪広がる

## 先輩の活動を引き継ぎ

平成21年11月1日、これまでの活動で知り合った松山市身体障害者協会の方々や日本ガーディアンエンジニアリング松山支部の方々、愛媛大学ボランティアサークル「すくすく」のメンバーの協力を得て、77人が大街道・銀天街を清掃し、ごみ袋4袋分のごみを収集することができた。

最初の自主企画「MISSION 01」堀之内を清掃せよ(松山城公園堀之内地区の清掃)からはや二年。今年度最初のスタッフ会議から計画を立てていった。まずは、今年度は記念講演ではなく、何かボランティア活動をしようとした。(この活動の経緯は表2参照)

度重なる話し合いの結果、初代のヤンボラスタッフの活動を引き継ぎ、街を清掃することになった。

ヤンボラ史上一番多い参加者数77人が集まった。予想外の人数に受付が大混乱。活動場所を5つに分け、できるだけ知



交流しながら、ごみを拾っている参加者

らないメンバー同士でグループ分けしようとしたのが裏目。なかなか人数確認ができなかったので、スタートが遅れた。



▲今回の新兵器

### イベントに先駆け車いす講習会を実施

クリーンウォークでは、松山市身体障害者協会の方々と一緒に活動することが決まったので、10月24日、車いすやその介助方法について学ぶために車いす講習会を行うことにした。当日は、松山

### 表2 「クリーンウォーク」を実施するまで

5月	ガイドボランティアも視野に入れ、松山市内を散策
6月	松山城周辺で行事を計画 車いすの方の介助をしている場面を見かけ、車いすの介助をしてはどうかとの声がある
7月	松山城で車いすの方の介助をするには研修会が必要と判断
8月	代替案として、大街道・銀天街の清掃を企画
9月	まちづくり松山「おいでんか」の方に相談
10月	関係機関に申請書などの必要書類を提出 (警察、市役所、社会福祉協議会など)
10月24日(土)	車いす講習会
10月31日(土)	事前の打ち合わせ会
11月1日(日)	当日(終了後、反省会)



クリーンウォーク in お城下まつやま

### 発表会や研修会等

#### 積極的に参加

今年度は、自分たちの活動や、他団体主催の活動に参加するほか、発表会や研修会にも参加した。

5月16・17日に行われた「中国・四国・九州地区 生涯学習実践研究交流会第28回大会」では、ヤンボラの活動を報告した。また、他の活動内容や様々な考え方を知り、多くのことを学んだ。

今年度は、自分たちの活動や、他団体主催の活動に参加するほか、発表会や研修会にも参加した。ボランティア体験講座に参加した。ボランティアの意義やインタープリテーション(自然解説)などについて学んだ。ユニークで分かりやすい菊間彰さんの講義では、五感に訴えかけるなど様々な表現方法を学ぶことができた。

### 7・8月にNPO法人

子育てネットワーク子育て広場「くまふあん」を訪ね、ミルクをあげたりおむつを替えたりした。緊張したが、将来役に立つ貴重な子育て体験ができた。



▲大洲にて

### 松山市身体障害者協会

一緒に活動ができ、有意義な時間を過ごすことができた。今後ボランティアをするにあたり、一言。原動力は「なぜ?」って思うこと。いろいろな体験をしていけば、普段の生活では気付かない新しい「なぜ?」が発見できるはず。

### ゆかしボランティア

#### 地域活性化めざし再始動

#### Team 浜ちよボ

「若い力でまちに活気を」という見出しの新聞記事、スタッフが見つけた。紹介されていたグループの名は「Team 浜ちよボ」。同世代のグループが新居浜で活躍していることを知り、取材することが決まった。当日はどしゃぶりで、予定していた清掃活動が中止。そんな中、色違いのポロシャツを着たメンバーたちが私たちに迎えてくれた。



▲Team 浜ちよボのメンバーと記念撮影

Team 浜ちよボを作ったキッカケは。

### ヤンボラの活動にご協力いただいた方々

- ・NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構
- ・愛媛県赤十字血液センター
- ・伊予農産物産物群
- ・保全プロジェクトチーム
- ・国立大洲青少年交流の家
- ・愛媛県社会福祉協議会
- ・松山市社会福祉協議会
- ・NPO法人
- ・愛媛県レクリエーション協会
- ・社団法人松山青年会議所
- ・おはなしぐみ
- ・NPO法人
- ・子育てネットワークえひめ
- ・新居浜市まちづくり協働オフィス
- ・愛媛県立松山聾学校
- ・松山市身体障害者協会
- ・松山大学V・Y・S部
- ・YGP(八幡浜元気プロジェクト)
- ・愛媛新聞社
- ・江戸町子ども会
- ・余戸南弘川地区第一子ども会
- ・一の宮団地子ども会
- ・株式会社まちづくり松山「おいでんか」
- ・松山市立久米小学校
- ・久米公民館
- ・久米地区高齢者クラブ
- ・愛媛大学ボランティアサークル「すくすく」
- ・日本ガーディアンエンジニアリング松山支部
- ・大野子どもクラブ
- ・ビッグ・フィールド大野隊
- ・えひめこども城

### 子どもをお客様にしない

#### 広島県廿日市ビッグ・フィールド大野隊



▲焼きそばの具を切る小学生

大野子どもクラブ「ビッグ・フィールド大野隊」とは、地域の方とのふれあいを大切にした体験をする中で、「自ら考え、仲間と共に行動」する子ども(小・中学生)を育成する事業で、子どもたちが生き生きと活動している。OB・OGの高校生は、見守り隊ジュニアとして、裏で支えている。平成22年2月6日スタッフ3名が広島県廿日市市大野市民センターを訪問。特に高校生の動きに注目した。

「子どもをお客様にしない」ことを大切にしていくという言葉通り、小・中学生が、翌日行われる地域の祭りで、自分たちが作った焼きそばや漬物を売るなどして活動資金にしており、率先してこれらの活動に取り組んでいる姿に感心した。

「自分で考えて行動しなさい」と、さぼっている子どもがいても具体的な先輩からの指示はない。失敗すれば、自分たちの責任になることを子どもたちは知っている。失敗することも学び」と見守る高校生や大人の姿は、とても刺激になった。

### 編集後記

今年度のヤンボラマは「絆」でした。講習会、研修会や他団体との交流など、貴重な経験をすることができました。みんなと協力し合い、地域との絆の深めていきたいと思えます。

#### 《新聞作成スタッフ》

- 門田 亮磨(今治工業)
- 山内 菜摘(松山西)
- 竹村 典子(松山西)
- 白石恵里奈(松山西)
- 三好 有美(松山南)
- 福岡 智仁(松山工業)
- 石川 芳輝(松山工業)
- 正木 祐輔(伊予)
- 福山 美喜(小田)
- 児玉 愛(愛大附属)
- 窪田のぞみ(愛大附属)
- 矢野 史花(愛大附属)
- 八木 綾香(愛大附属)
- 宇根田菜歩(愛大附属)
- 奥田 彩香(聖カタリナ)
- 正岡 望美(済美)
- 安本 理沙(済美)
- 和田 澄香(未来)
- 中村 晃大(聖カタリナ短大)
- 清水 隆浩(松山大学)

**ヤングボランティアスタッフ募集!!**

〒790-0007 松山市堀之内 愛媛県美術館南館内  
TEL・FAX:089-932-0160  
メールアドレス:youngvol@hime07@yahoo.co.jp  
くわしくは、ホームページをご覧ください。

ヤンボラ 検索

一緒に活動してみませんか?

